

コウノトリ

毎週月曜日更新



カタカタ通信

第29号

「換羽について 風切り羽編」

2022年7月4日

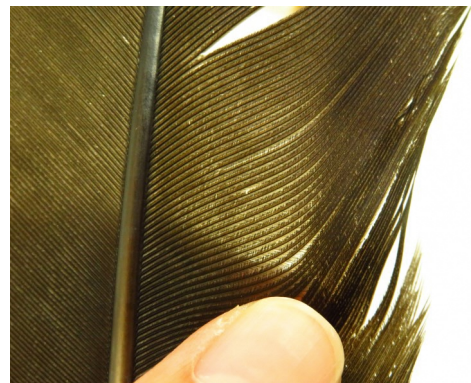
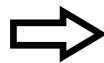
5月末に偽卵（ぎらん）を回収し、繁殖行動も減った6月上旬から、コウノトリの羽がほぼ毎日のように落ちていました。飛ぶのに必要な風切り羽（かざきりばね）は、片翼に約30枚あります。2羽飼育しているので約120枚ある計算です。一度にたくさん抜けてしまうと飛べなくなるため、少しずつ生え変わります。全部抜けるのに約4か月かかります。

鳥の羽は、ボロボロになっても撫でるとマジックテープのようにくっつきます。少しボロボロになった場合は、羽繕い（はづくろい）で整えますが、それでも治らない羽は6月から10月ごろに生え変わります。鳥によって換羽（かんう）のタイミングは違い、ツルの場合は2年に1度です。ただ飼育下で栄養状態がよい場合は、2年続けておこなうこともあるようです。

今年抜けている羽は全て集めています。4か月分溜まったら展示をしたいと思っています。



少しボロボロの羽



撫でて整えた羽

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター
飼育担当：しみじい